

8KとAIoTで世界を変える



シャープがめざす未来

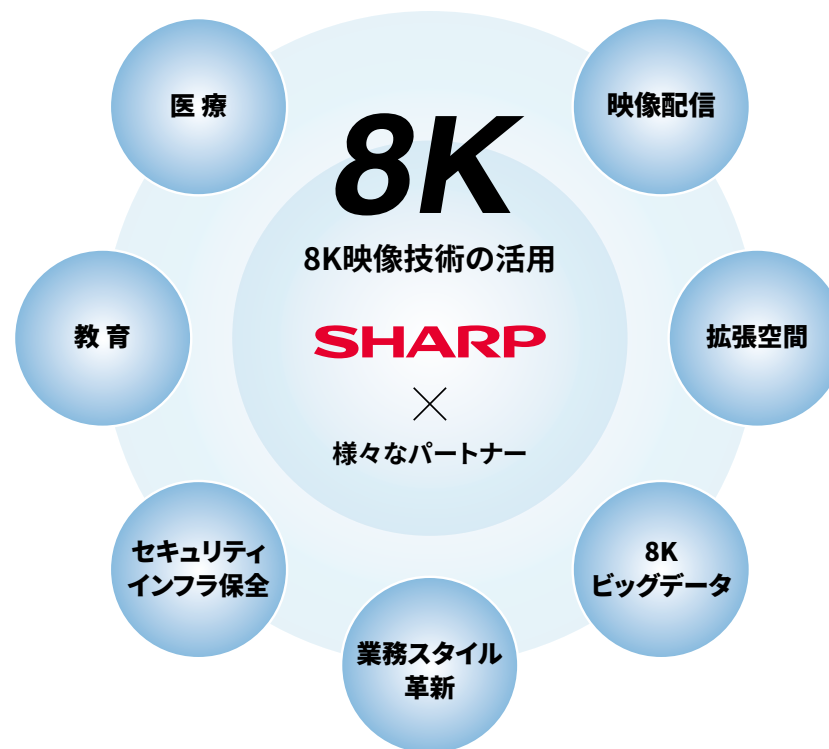
それは、身の回りの機器が人に寄り添い、新しいパートナーとして、生活をより豊かにしてくれる社会。
そして、8Kで様々なイノベーションを巻き起こし、人々の暮らしを変えていくことです。

8Kエコシステム

8Kエコシステムは、シャープだけではなく他の企業とも協力し、お互いの持つ強みを組み合わせ、8Kを発展・普及させていく戦略です。

フルハイビジョンの16倍の解像度となる8Kの超高精細映像は、驚異的な臨場感や立体感による「圧倒的なリアリティ」を実現するとともに、今まで映らなかった細かなものを鮮明に映し出すことで「新たな発見」をもたらします。

シャープは、こうした8Kの超高精細映像技術を核に、様々なパートナーとともに、映像の作成、加工から、配信、表示までの一連のバリューチェーンを構築していきます。そして、次々と新産業の芽を創出し、様々な分野で大きな社会イノベーションを巻き起こしていきます。



8Kエコシステムの取り組み

シャープは、8Kテレビ・ディスプレイや8Kカメラなど、8Kエコシステムを構築する上で核となる製品開発、技術開発を加速するとともに、5GやAIの技術も組み合わせ、放送分野はもとより、医療、セキュリティ、工業、教育、美術、インフラ保全、エンターテインメント、観光など、幅広い分野において、各パートナーとともに、8K技術を活用したソリューションの展開を進めています。

2017年8月には、長年に亘りテレビ・ディスプレイを開発してきたシャープの強みを活かし「AQUOS 8K」を発表、12月には、シャープのデバイス技術とアストロデザイン株式会社との協業による「業務用8Kカムコーダー」を発売しました。また、医療分野では、カイロス株式会社の内視鏡システム向けに70型8K映像モニターを納入しています。



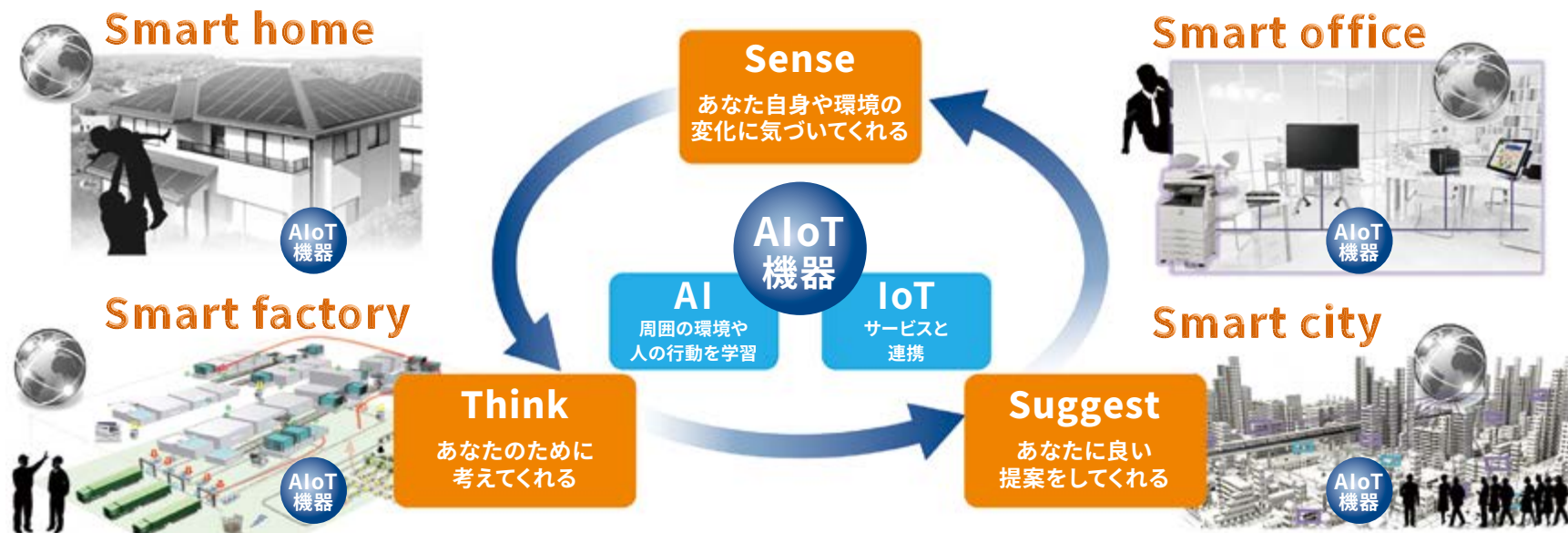
放送以外にも幅広い分野に展開



人に寄り添うIoT

AI（人工知能）とIoT（モノのインターネット）に対応した機器、すなわち、AIoT機器が、人や環境の変化に気づき、考え、インターネットを通じて様々なサービスと連携し、最適な提案をしてくれる新しいパートナーになることを、シャープは「人に寄り添うIoT」と呼んでいます。

そして、これを、スマートホームやスマートオフィス、スマートファクトリー、スマートシティなど、様々なシーンに広げ、人が主役になるスマートな社会を実現していきます。



AIoTの取り組み

シャープのAIoTを魅力的なものにするためには、サービスの拡充も重要です。例えば、スマートホーム事業では、AIoT機器を拡充するだけでなく、「COCORO MUSIC」「COCORO GAME」「COCORO PET」「ヘルシオデリ」等、新たなAIoTサービスを立ち上げるとともに、こうした取り組みを通じて構築したAIoTプラットフォームを他社に提供し、新たなビジネスの創出を進めています。加えて、AIoT化によるアフターサービスの効率化も進めています。

こうした新たなビジネスの創出には、長年に亘って培ってきたシャープのデバイス技術は大きなアドバンテージとなります。

シャープは、こうした強みを活かし、スマートビジネスソリューション事業でも、スマートオフィスやスマートサイネージ、スマートリテール、スマートファクトリーなどAIoTによるビジネスの変革に取り組んでいます。

スマートホーム事業における取り組み

